



図1

「自助・共助・公助」

人を助けるためには、自分が被害に遭わない「自分の身は自分で守る」ことが大切です。このことを「自助」といいます。自分が被害に遭わないことで、人を助けることができ、隣近所の住民と協力して、助け合うことを「共助」といいます。「公助」とは、町や国や県からの支援をいいます。阪神・淡路大震災では約8割の方の救助は「共助」で行われたと報告があります。【図1】

2

減災に向けて

減災とは、災害による被害を最小限に抑えるための事前対策や取り組みのことです。前述した自助、共助の取り組みはまさに、減災への取り組みです。災害が発生してから家具の固定や非常持ち出し品を準備することは減災につながりません。また、共助の取り組みも普段から地域のつながりを意識してコミュニケーションを図っていくことが大切です。

3

家具の転倒、落下を防ぐポイント ●事前に準備出来ているか、チェックしましょう。

- タンス・本棚**：し字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかりと連結しておく。
- 食器棚**：し字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふすまなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。
- 照明**：チェーンと金具を使って数箇所止める。蛍光灯は蛍光灯の両端を耐熱テープで止めておく。
- 冷蔵庫**：所定の取り付け場所(運搬用取っ手など)を転倒防止ベルトで壁や柱に固定する。
- テレビ**：テレビ台とテレビを直接固定するのが有効。脚などに専用の取り付け箇所がある場合はボルト等で取り付け、そうでないものは転倒防止ベルトなどで固定する。
- ピアノ**：本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。扉には、すべり止めをつける。

情報収集

地震については、予知することはできませんが、台風、大雨や土砂災害などについては、災害発生前に危険な場所など情報を収集することができます。テレビやラジオのほか、町では町公式アプリ「かねがさきinfo」から気象警報のお知らせや避難情報、便利なリンク集からも防災に関する情報を取得することができます。次の二次元バーコードからダウンロードしてください。

かねがさきinfoは、便利なリンク集があります。「防災」のリンク集は以下の情報につながっています。

- ①防災マップ・・・金ケ崎町の防災マップを見ることができます。
- ②気象庁キキクル・・・土砂災害、浸水、洪水の危険が迫っているか、避難する際の参考になる情報を見ることができます。
- ③岩手県土砂災害警戒情報システム・・・県内の雨量(実測)や今後の雨量の予測などが見られるほか、土砂災害の危険区域の場所と危険が迫っているか確認することができます。
- ④川の水位情報・・・カメラが設置されている河川の水位をリアルタイムで画像で確認できます。

また、水位の変動も確認することができます。このほか、停電情報や停電時携帯電話充電スポットなどが確認できます。また、町では「かねがさきinfo」の登録や使い方について出前講座を実施していますのでお気軽にご相談ください。

4

google play・Apple store からダウンロード！！

Android 用

iPhone 用



減災にむけて

毎日のように「防災」に関する報道がなされています。また、地球温暖化を原因とし、日本各地で大雨の影響による被害が発生しています。最近の大雨は一度に多くの雨を降らせ、土砂災害や河川の氾濫などを引き起こし、最悪な場合は人命を失うこともあります。(写真は昭和63年8月 金ケ崎町集中豪雨 橋脚の一部が流出した川原田橋)

☎ 生活環境課防災係 (内線 2131)

金ケ崎町 防災マップ

マップ 保存版

金ケ崎町全体図	1-2	地震対策について	29
金ケ崎町防災マップ	3-14	ため池/ハザード情報について	30
金ケ崎町防災マップ中心拡大図	15-16	火災対策について	31
ため池防災マップ	17-22	避難行動ガイド	32
災害に備えて	23	わが家の防災対策	33-34
警戒レベルを用いた避難情報	24	避難施設一覧	35-36
防災気象情報	25-26	備蓄品および非常持ち出し品	37
洪水・浸水害について	27	わが家の「緊急・救急情報」防災メモ	38
土砂災害について	28	各種情報・発行	裏表紙

「自分の身は自分で守る」

町で作成した「金ケ崎町防災マップ(黄色冊子)」は町内の浸水想定エリアや土砂災害警戒区域などが地図上に記載されています。自分の家の周辺の危険箇所や通勤、通学、買い物などで普段通っている道路など危険がないか確認し、身の安全を確保するようにしましょう。また、防災マップには、地震対策、火災対策、我が家の防災対策などが記載されています。特に就寝中に地震に襲われ家具が倒れて避難できなくなることもありますので、家具の固定などに取り組むことが大切です。

また、備蓄品や非常持ち出し品についても防災マップに掲載しています。備蓄品は少なくとも3日分を準備するようになっています。飲料水であれば一人1日3リットル準備する必要があります。



◀金ケ崎町防災マップ 二次元バーコード